



# 石神井南中学校 学校だより

令和 2年度 第 2 号  
発行日 5月13日 (水)  
練馬区立石神井南中学校  
校長 田 邊 克 宣

## 『 今やること 』

校長 田邊 克宣

「敵は本能寺にあり。」1582年、本能寺の変において明智光秀が発した言葉として、およそ120年後の江戸時代中期に『明智軍記』に記されたものです。その背景にある歴史的事実や、そこに関わったであろう人々の関係、それぞれの思惑など、400年以上を経た現代においてなお、想像の翼が広がります。「真の目的は他にある」という意味の諺として用いられるこの語句ですが、現在、新型コロナウイルスの猛威に対する不安からか、人々の中に疑心暗鬼が生じ、様々な所で”敵”が生み出されているようです。

古来、人間が社会生活を営む上では、狩猟にしろ農耕にしろ、皆で力を合わせる必要がありました。原始社会ではマンモス象を狩るために、江戸時代ならば鯨を獲るために、あるいはより広い田畑を耕してたくさんの収穫を得るために。そうした獲物や収穫物に対して皆で協力することは、目的のための方法です。一方で、一致団結することを目的とする場合があります。その時に、一番簡単な方法が、共通の敵を作ることです。その最たる例が、スポーツでしょう。

強大な敵を倒すために、選手はもちろんのこと、応援する者たちまでが一体となって相手と対峙する。明確な力の差も、その団結力によってひっくり返し、実力以上の成果を収めたという例は、プロ、アマを問わず、一つや二つではありません。ここでの敵は、自分の生命、安全を脅かす存在とは違います。喧嘩や、あるいは戦争といった場合には、相手を打ち負かし、自分だけが利を得ることが目的となります。スポーツにおける敵が、争いにおけるそれと異なるのは、相手と競いあうことが、お互いによりよく生きることにつながるということです。スポーツにおいては、実は一致団結することが目的なのではなく、競技を通して、よりよく生きる何かを得ることが、「真の目的」の一つとしてあるのです。勝っても負けても、闘い終えた後に、次につながる何かが残るもの。それは、メンタル、フィジカルを含めての自身のスキルアップであったり、次のよりよい試合であったり、観る者の感動であったり、いずれにしても、その後も続いていく「生きる」ということによりよい影響を及ぼしていくものであり、また、そうでなければスポーツとしての意味はありません。

昨年、日本でも連日話題となっていたラグビーのワールドカップを覚えている人も多いでしょう。私もよくテレビ観戦をしていましたが、中でも印象的なシーンがありました。ゲームがエキサイトし、選手が互いの胸倉を掴みあったときのことです。止めに入るのは審判ではなく、チームメイトたちでした。徒に争いを煽ったり、まして自分も加わるなどということはせず、フェアプレーに徹して正々堂々と試合をすることを重んじる精神をまさに具現化した行動から、真のスポーツマンシップが感じられました。なるほど、あれだけ激しいぶつかり合いをするラグビーという競技が紳士のスポーツと言われる所以はここにあるのだなと感心したことを、テレビの前で熱狂したこととともにはっきりと覚えています。ラグビーというスポーツは、スポーツマンシップに則って、一致団結するからこそ、試合後のノーサイドがさらに意義あるものとなるのでしょう。

今、世界は、対コロナウイルスで戦々恐々としています。そうした中、あらぬ誹謗中傷で苦し

んでいる人々が数多いということが報道されています。残念ながら、人は、共通の敵を作ることによって安心感を得られるようです。そこに似非の団結が生まれるからでしょう。それは、真の団結ではありません。いじめにつながる、否、いじめの元凶となる卑劣な行為です。もし、自分を守るために、あるいは不安から逃れるために敵を作るといふようなことがあるのなら、守るべきものは何か、そしてそれは、何から守る必要があるのかを、今一度考えてみる必要があります。

今、いろいろなことで自粛が求められていますが、これは、自分の、そして他者の命を守るために、積極的に、自ら主体的に取り組んで然るべき最優先の事柄です。目的は、目先の安心感などでなく、全人類が新型コロナウイルスに打ち勝つことです。

今、やることは、なんでしょう。戦争について学び、地震や台風といった大きな自然災害に遭遇する中で、我々はその都度、経験とともに知恵を蓄えてきたはずです。天災は防ぎようがないけれど、人災は、自らコントロールしなければいけないし、理性をもって十分に制御しうるものであるはずです。

やってはいけないことに安易に身を委ねてその場限りの安心を得ることを厳に戒め、やらなければいけないこと、そしてなによりやるべきことに誠心誠意取り組むことが、今、我々に求められていることであると考えます。

学校の臨時休業が続く中、ご家庭でも様々な状況に直面し、さぞご苦勞も多かろうと存じます。石南中の教職員は、常に生徒の顔を思い浮かべながら、学校再開の折に一番良い形で子供たちを迎えられるよう、刻々と変化する状況に対応した方策を日々、考え、一日も早くスタートできるように準備をしております。

ご家庭におかれましても、また、地域におかれましても、それぞれに大変なこととは十分にお察しいたしますが、どうぞ、地域の子供たちの健やかな成長のために、今しばらく、より大きなご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

---

#### — 休業中の学校対応について —

- ① 【生活】：毎朝の検温・体調チェックを怠らず、不要不急の外出を避け、毎日の生活リズムを保ちながら、適度な運動で心身の健康維持に努めましょう。「臨時休業中 学習計画表」をうまく活用してください。学習課題については、学校への電話相談時間を利用してください。心配事などは、遠慮せず、先生やスクールカウンセラーに連絡してください。いつでも相談に乗ります。『困ったときの相談は・・・』（5月版 配布済み）の外部連携機関もあります。
- ② 【課題】：一生懸命に取り組んだものを、やりっ放しにさせるようなことはいたしません。きちんと評価・評定に組み込むので、安心して、最後まで丁寧に仕上げてください。提出については、学校が再開した後、改めて指示いたします。
- ③ 【連絡】：生活・健康状態と、課題の進捗状況を確認するために、日時を決めて、生徒本人から電話連絡をしてもらいます。生活指導部からのプリントを確認してください。また、学校再開等の諸連絡は、内容に応じて、学校HP・学校連絡メール・連絡網にてお伝えいたします。生徒・ご家庭同士でも話題にさせていただきたく、よろしくお願いいたします。
- ④ 【年間行事予定】：授業日数に関して、学習時間の確保ができるように区で検討しております。それに伴い、学校行事及び都・区主催の連合行事等について、学校及び都・区で延期・中止等を検討中です。運動会と修学旅行については、延期の方向で調整中です。この後の再開時期により変動が考えられますので、年間行事予定が確定するまでお待ちください。